

医学部同窓会便り



第1号では大学公園内に鎮座している初代学長古武彌四郎先生の胸像とその傍らに咲くマンダラゲでした。
第2号では学章のモチーフとなったマンダラゲの花です。

宇野英明会長、宮下和久副会長、坂口雅宏副会長にて会長・副会長会開催



会長副・会長の結束で更なる活性化

去る、10月9日午後3時30分より生涯研修センター会議室において宇野英明会長の呼びかけで会長・副会長会が開催された。

宇野会長は、同窓会を更に活性化し、スムーズな同窓会活動を行うために役員はもとより、会長・副会長の結束が不可欠であるとの意見を述べ、宮下、坂口両副会長も同様の認識で今後の同総会運営が行われることを確認した後、第2回理事会の協議事項等に2時間を超える熱心な議論が行われ散会した。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院創立60周年

私達医学部同窓会副会長として長年にわたり、同窓会の発展のためにご尽力をいただきました有田幹雄先生が分院長を務める和歌山県立医科大学附属病院紀北分院創立60周年記念式典が、9月24日にかつらぎ町のあじさいホールで開催された。

式典には、多くの来賓の方も出席され祝辞を述べられていましたが、同窓会便りということで同窓生の動向を中心に掲載いたしました。ご容赦ください。

式典は、紀北分院の滝谷年克事務室長の司会で始まり有田幹雄分院長式辞、岡村吉隆理事長・学長の開会挨拶。

当日は、宇野英明同窓会長も来賓として出席し祝辞を述べた。



主催者挨拶：有田幹雄分院長



主催者挨拶：岡村吉隆理事長・学長



来賓祝辞：宇野英明同窓会長

記念講演 兒玉 憲先生、中西憲司先生



記念講演 1
「紀北分院時代を振り返って 外科医として今思うこと」と題して、肺がん手術のスペシャリストとして名高い本学47年卒、八尾市立病院特命院長兒玉 憲先生の講演が行われた。



記念講演2
「免疫学から学んだこと 見上げれば高く振り返れば一瞬」と題して、免疫学研究のトップリーダーである本学50年卒の中西憲司先生の講演が行われた。



紀北分院外科教授の川上守先生（55年卒）が記念講演の座長を務められた。
引き続きパネルディスカッションに移った。

パネルディスカッション



「後期研修プログラム 地域医療の充実を目指して」と題して、上野雅巳教授（60年卒）より発表が行われた。



「総合診療医の育成と紀北分院」と題して、佐々木秀行紀北分院内科教授（56年卒）より発表が行われた。



岡村学長、吉田附属病院院長、兒玉先生、中西先生、上野先生、佐々木先生がパネラーにコーディネーターは有田分院長が務められた。



司会進行：滝谷年克事務室長

懐かしい顔・顔・顔の懇親会



紀北分院創立六十周年
おめでとーございます。

有田幹雄分院長を始め先生方のご健勝と更なるご活躍、
紀北分院の更なるご発展をお祈り申し上げます。

同窓会員一同

第14回和歌山県地域医療フォーラム2014開催



開会挨拶：宇野英明同窓会長

秘伝公開！
肌を10年若く保つ方法



開会挨拶：赤水尚史センター長

大学皮膚科では、県皮膚科医会と協力をして毎年「皮膚ガン無料相談」を開催しています。



皮膚科学教室の古川福実教授、山本有紀准教授、金澤伸雄講師、上中智香子先生、稲葉豊先生、国本佳代先生、上出三起子先生、麻殖生和美様共催の赤水尚史生涯研修センター長
ありがとうございました。



場所：和歌山県立医科大学講堂
日時：10月18日(土) 午後2時～
整理券申込者：550名 (内立見席50名)
当日参加者：476名
主催：医学部同窓会 共催：生涯研修センター



閉会挨拶：坂口雅宏同窓会副会長



皮膚のお話をされた後講演に移った。
司会進行：古川福実先生



講演1
「潤いのある若い肌とはどんな肌」 稲葉 豊先生



講演2
「肌が老化するには訳がある」 国本 佳代先生



講演3
「ケミカルピーリングで若返ろう」 上出三起子先生



講演4
「レーザーで若返ろう」 上中智香子先生



講演5
「見逃すと怖いシミ」 山本 有紀先生



講演6
「お風呂できる怖いシミ発見の術」 金澤 伸雄先生



大盛況のフォーラムでした。